



## [ 経営理念 ]

私たち南海プライウッドは、  
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、  
お客様の求める真の価値を創造し、  
ステークホルダーおよび社会との  
調和ある安定成長を実現します。

## [ コーポレートステートメント ]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。  
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、  
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、  
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、  
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために  
社会に対し3つの誓約を実践します。

## 行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

### 1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。  
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために  
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた  
態勢を構築します。

### 2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。  
大切なお客様の笑顔を守り、  
信頼を築く態勢を構築します。

### 3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。  
自然・社会・人の環境持続を優先した  
態勢を構築します。

## ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
ここに第56期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し  
あげます。

当第2四半期累計期間のわが国経済は、エネルギーや原材料  
価格の高騰と米国のサブプライムローン問題を背景として企業収益  
は減少を続け、個人消費も弱めの動きとなり、景気は減速し停滞  
状況となりました。

また、住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が昨年の落ち  
込みから回復してまいりましたが、依然として厳しい状況で推移  
いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、これからの時代に必要な  
「意識」を共有するために、創業以来からの経営理念を見つめ直し、  
次代のテーマであるCSR(企業の社会的責任)の概念を組み  
込んだ新しい経営理念体系を構築しております。この理念のもと、  
収納材のトップメーカーを目指してまいります。

収納材メーカーへのイメージチェンジをアピールするため6月東京  
において当社単独の製品発表会を開催いたしました。収納材を  
中心としたオリジナル製品を身近で見ていただくことにより当社  
製品に理解をいただくことができ、今後の販売に期待が持てる  
と確信いたしました。

先行きの景気は、金融不安と实体经济の悪化が連鎖する環境下、  
海外経済の減速傾向が強まり停滞を続ける可能性が高く、当面  
不透明な状況が続いていくと予想しております。住宅業界におき  
ましても、同業他社との企業間競争はますます激化していき、厳しい  
状況が続いていくと推測しております。

当社グループといたしましては、グループ丸となり市場の環境  
変化に迅速に対応するとともに、未来に向かって一步一步着実に  
歩んでまいります。当面は、製品原価の低減に努め、収納材製品  
の拡販に傾注いたします。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を  
賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

[ 緑の循環 エコリングシステム ]

# ECO-RING SYSTEM

南海プライウッドは  
未来のために  
植林事業を推進しています。

持続可能な社会を目指し、  
2006年にインドネシア・カリマンタン中部の  
休閑地を活用した、循環農耕型の  
植林事業を開始しました。

[ 目的 ] 資源枯渇防止 資源安定供給  
休閑地緑化 二酸化炭素削減  
地球温暖化防止 生態系維持

[ 現状 ] 現在テスト段階として第1フェーズ38haに約  
54,000本強のファルカタ材を植林。  
経過2年で樹高3m以上・胸高直径10cm以上  
に成長し順調な生育状況にあります。  
経過7年で胸高直径30cm以上に生長し伐採・  
製品化が可能となり、約20,000 m<sup>3</sup>の出材が  
見込まれています。

[ 今後 ] 土地・環境適応状況等を継続調査し、問題が  
なければ数年後100ha単位で第2・第3フェー  
ズへ規模を拡大し、最終、自社供給の大半を  
満たす1,000haの植林を実施する計画です。

[ 効果 ]

- 約7年周期で植えつけ・収穫を繰り返す農耕  
循環型植林で、供給・価格の安定化が図れ  
ます。
- 休閑地の環境回復・維持が図れます。
- 年間自家用自動車1,750台分の二酸化炭  
素を削減。(1,000haの場合)
- 基材を軽量のファルカタ材にスイッチするこ  
とで二次的効果として、運送に関わる二  
酸化炭素排出量を1/3に削減できます。(PB  
比較/当社算出値)
- 現地住民に苗木生産時の一時雇用の発生・  
収穫時の成木買取契約等により地域経済  
の活性化が図れます。



ファルカタの苗木



ファルカタの成木

NEWS RELEASE



収納材がさらに充実。



# NEWパーツと空間提案で拡販を計ります。 NEW PRODUCT



ブラックランバー



アームハング棚柱セット



WICセット

**NEW DESIGN  
DEBUT!**

洋風天井「ハーモシーリング」に新しい柄が登場。



ライトオーク



クリアメイプル



ミディアムオーク



ダークチーク



ダークオーク

**HARMO  
CEILING**

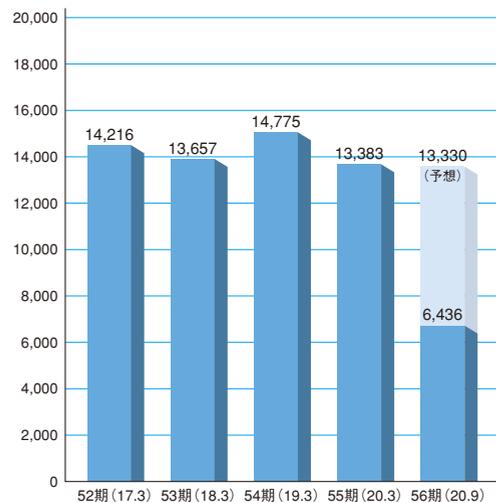
▼連結業績の推移

(単位:百万円)

項目	52期 (17.3)	53期 (18.3)	54期 (19.3)	55期 (20.3)	56期 (20.9)
売上高	14,216	13,657	14,775	13,383	6,436
経常利益	899	972	978	78	61
当期(四半期)純利益	451	639	549	-21	20
総資産	21,333	20,329	20,030	18,743	18,470
純資産	15,816	16,422	16,879	16,440	16,278
自己資本比率	74.1%	80.8%	84.3%	87.5%	88.0%

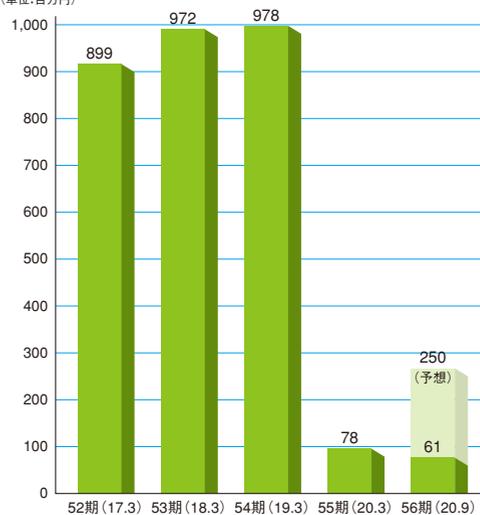
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



## 当第2四半期累計期間の概況

当社グループでは、厳しい状況のなか積極的な提案営業活動の展開により製品の販売に努めました。木材関連事業におきましては、重点販売製品として天井材は、光触媒消臭天井「イトシック・シーリング」を、収納材は、棚板「アートランバー」および「アートランバーリフ」、収納部材「アートランバーシェルホワイト」を1ミリ単位にカットするオーダーズカットシステム、可動収納ユニット「ウォールゼットムーブ」、アルミ製オープン階段「ルミスト」を掲げ、拡販に努めてまいりました。

一方、電線関連事業等につきましては、建設物件獲得に努めましたが受注価格競争の激化により非常に厳しい状況での営業展開となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高64億36百万円、営業利益40百万円、経常利益61百万円、四半期純利益20百万円となりました。

## 通期の見通し

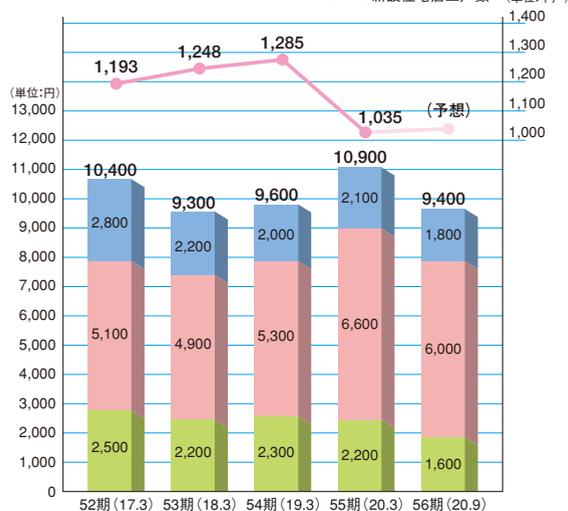
景気の先行きに対する不透明感が増す状況ではありますが、当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に努め、グループの業績目標の達成に全力で取り組んでまいります。

木材関連事業におきましては、重点販売製品を中心にホームビルダーへの積極的な提案営業活動による拡販を強化し売上および利益目標の達成に努めてまいります。

一方、電線関連事業等につきましては、全社をあげて「創る営業活動」に意識を改め、建設物件獲得に向け積極的な営業活動を展開してまいります。

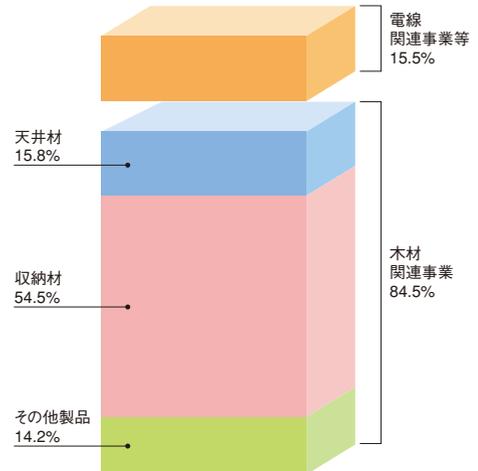
通期の連結業績は、売上高133億30百万円、営業利益1億70百万円、経常利益2億50百万円、当期純利益1億30百万円になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



## 連結財務諸表の要旨

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
<b>■資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>9,150</b>	<b>9,255</b>
現金及び預金	1,121	1,169
受取手形及び買掛金	3,793	3,201
商 品	104	118
製 品	938	1,152
原 材 料	1,973	2,420
仕 掛 品	589	612
貯 蔵 品	52	9
デリバティブ債権	62	42
そ の 他	520	532
貸倒引当金	△4	△4
<b>固定資産</b>	<b>9,319</b>	<b>9,488</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,931</b>	<b>8,042</b>
建物及び構築物	2,195	2,291
機械装置及び運搬具	961	957
工具器具備品	42	43
土 地	4,731	4,750
<b>無形固定資産</b>	<b>53</b>	<b>78</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,334</b>	<b>1,366</b>
投資有価証券	660	643
長期貸付金	76	81
そ の 他	598	643
貸倒引当金	—	—
<b>資産合計</b>	<b>18,470</b>	<b>18,743</b>

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
<b>■負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,880</b>	<b>1,982</b>
支払手形及び買掛金	932	938
短期借入金	100	200
未 払 金	332	213
未 払 費 用	58	72
未 払 法 人 税 等	39	15
未 払 消 費 税 等	75	66
賞 与 引 当 金	115	120
デリバティブ債務	207	332
そ の 他	20	21
<b>固定負債</b>	<b>311</b>	<b>321</b>
退職給付引当金	127	133
役員退職慰労引当金	22	28
そ の 他	161	159
<b>負債合計</b>	<b>2,192</b>	<b>2,303</b>
<b>■純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>16,318</b>	<b>16,380</b>
資 本 金	2,121	2,121
資 本 剰 余 金	1,865	1,865
利 益 剰 余 金	12,407	12,465
自 己 株 式	△75	△71
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△69</b>	<b>22</b>
その他有価証券評価差額金	103	90
繰延ヘッジ損益	△86	△191
為替換算調整勘定	△86	124
<b>少数株主持分</b>	<b>28</b>	<b>36</b>
<b>純資産合計</b>	<b>16,278</b>	<b>16,440</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,470</b>	<b>18,743</b>

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前中間連結会計期間
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	6,436	6,505
売上原価	4,666	4,589
売上総利益	1,770	1,915
販売費及び一般管理費	1,730	1,770
営業利益	40	145
営業外収益	78	82
営業外費用	57	127
経常利益	61	100
特別利益	1	13
特別損失	37	9
税金等調整前四半期(中間)純利益	26	104
法人税、住民税及び事業税	40	63
法人税等調整額	△35	58
少数株主利益	—	1
四半期純利益(△中間純損失)	20	△19

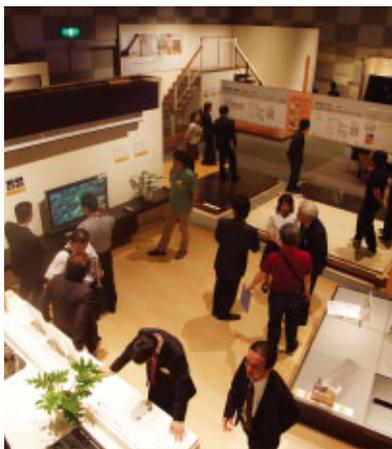
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前中間連結会計期間
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	345	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△288
現金及び現金同等物の増減(△)額	△45	△404
現金及び現金同等物期首残高	1,161	1,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,115	1,081

### (注) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更による、当第2四半期連結累計期間の損益への影響はありません。
- 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」を適用しております。この変更による、当第2四半期連結累計期間の損益への影響はありません。



- 日 時 2008年6月11日・12日
- 会 場 東京TFTビル  
(東京ファッションタウンビル)  
西館TFTホール300
- 動員数 520名超(約110社)

2008年初夏に開催致しました「南海プライウッド製品発表会 2008 in 東京」は、天井材メーカーとしての印象が強く、ショールームを持たない弊社にとって、お客様に多彩な製品を身近に見て触れていただくこと出来る絶好の機会となりました。ご来場いただいた皆様から、製品に対する積極的なご意見も多くいただき、製造メーカーとして更なる成長へ弾みがついたと言えます。

## 南海プライウッド製品発表会 2008 in 東京

新しい出来事。  
新しい発見。



NANKAI Product Show 2008 in Tokyo



## 株式の状況

(平成20年9月30日現在)

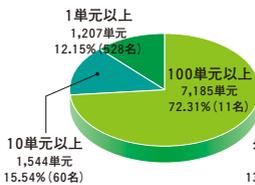
### 総数

発行可能株式総数…………… 20,000,000株  
 発行済株式総数…………… 10,095,800株  
 株主数…………… 680名(前期末比20名減)

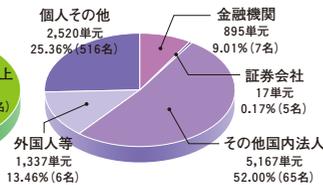
### 大株主

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.21%
財団法人南海育英会	1,554	15.95
エスアイエス セガ インターセトル エージ	541	5.55
株式会社百十四銀行	467	4.79
ソフィテシナル エアールエイ エイ- デイティイ	445	4.56
丸山 修	344	3.53
株式会社愛媛銀行	243	2.49
クラリデン ロイ リミテッド	197	2.02
南海プライウッド株式会社	196	0
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.31

### 所有単元数別分布状況



### 所有者別分布状況



### 株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 6月
- 基準日 / 3月31日(その他必要があるときは、予め公告する一定の日)
- 株主名簿管理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス
- 同事務取扱場所 /  
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
  - 株式事務各種問合せ フリーコール電話番号 0120-255-100
  - 株式関係手続用紙請求先 フリーコール電話番号 0120-351-465
  - インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp>
- 上場金融商品取引所 /  
大阪証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

## 会社概要

(平成20年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社  
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号  
 電話 087(825)3615(代表)  
 Eメール [np@nankaiplywood.co.jp](mailto:np@nankaiplywood.co.jp)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日  
 資本金 21億2100万円  
 従業員数 373名(連結1,322名)  
 事業内容 建築内装材の製造・販売  
 事業所 志度工場  
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地  
 物流センター  
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1  
 朝日新町倉庫  
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

## 役員

(平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	正箱 孝史
代表取締役専務執行役員	山口 時弘	取締役・執行役員	丸山 宏
常務取締役執行役員	田井 雅士	取締役・執行役員	玉置 康洋
取締役相談役	丸山 修	常勤監査役	高松 幸雄
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	藤村 岳志	監査役	岩部 達雄
		監査役	村田 剛

### < 株券の電子化に伴う特別口座の開設について >

平成21年1月施行の株券の電子化に伴い、証券保管振替機構(ほふり)に預託されていない株券(登録単元未満株式を含みます。)について、株主様の権利を確保するための特別口座を当社の株主名簿管理人である「株式会社だいこう証券ビジネス」に開設することいたしましたので、お知らせ申し上げます。  
 なお、この特別口座は、株式の売買を目的としていないため、株式の売却(単元未満株式の買取を除きます。)などを行う場合には、株主様が別途証券会社等に口座を開設し、株式を振替える必要がございます。



[ TRIPLE CROSS トリプルクロス ]

南海プライウッド経営理念の象徴化および、  
その具体的活動領域をシンボル化しています。  
CSR(企業の社会的責任)の課題に対応し  
社会に向けての行動規範を3つの誓約として  
+(プラス)のデザインに表し、  
その領域で付加価値提案や社会貢献する  
意志を表現しています。

LIFE = 暮らし

HEART = 心

ENVIRONMENT = 環境

